

1-1 建築面積の算定について

建築基準法施行令（以下「令」という。）第2条第1項第2号の規定による建築面積の算定に関する取扱いを、以下のとおり定める。

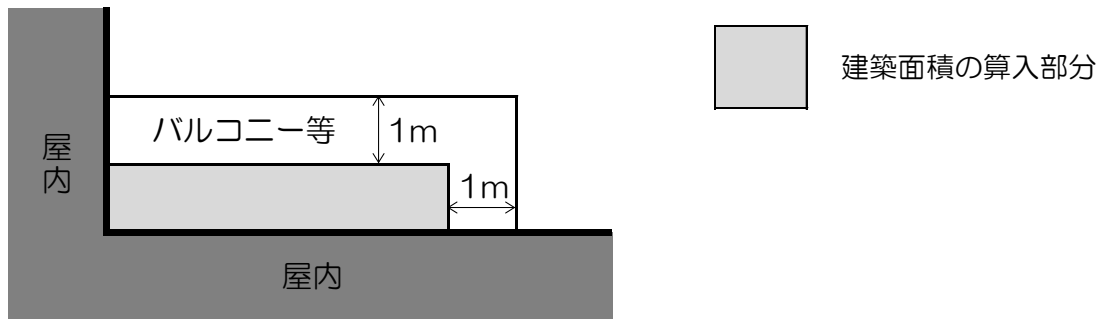
1 原則の取扱い

- 令第2条第1項第2号に規定される「軒、ひさし、はね出し縁その他これらに類するもの」に該当する建築物の部分であっても、当該部分が床面積に算入される場合は、建築面積にも算入する。

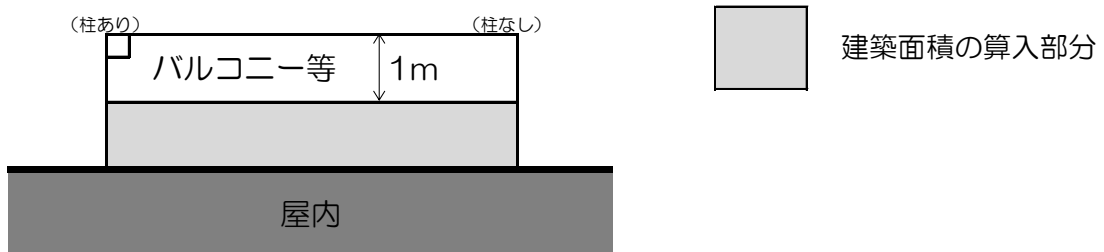
2 建築面積の算定方法

(1) バルコニー、廊下、ひさし

① 2面を建築物のみで支えている場合

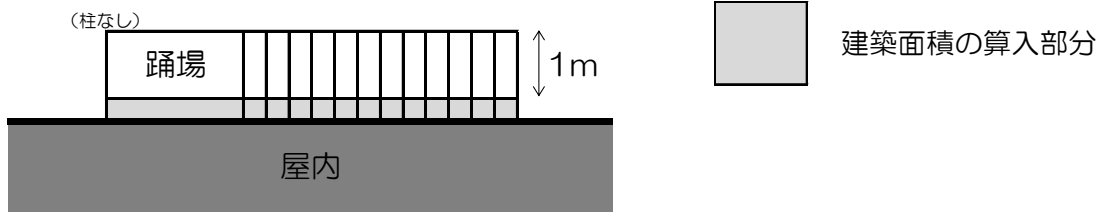


② 1面を建築物で支えており、かつ、反対側は一方のみ柱で支えている場合

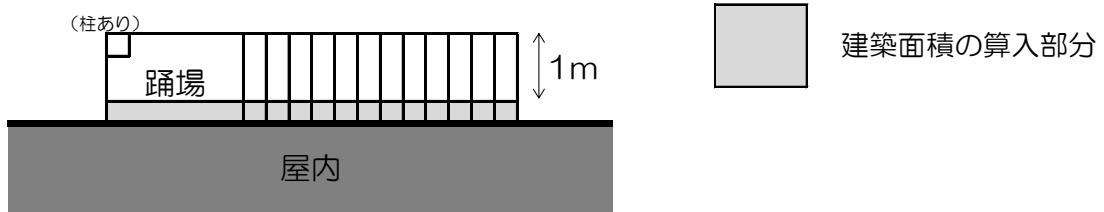


(2) 階段

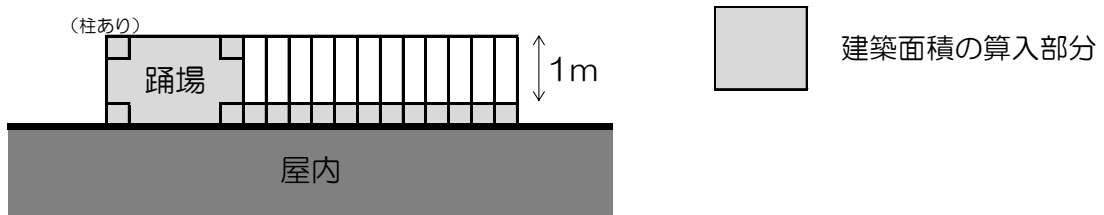
① 1面を建築物のみで支えている場合



② 1面を建築物で支えており、かつ、反対側は一方のみ柱で支えている場合



③ 柱のみで支えている場合



3 スノコやグレーチング等の取扱い

- ・バルコニー等の床や屋根としてスノコやグレーチング等を用いる場合は、通常の床や屋根と同等とみなす。
- ・なお、床面積の算定においても、同様に取り扱う。

関連条文	建築基準法施行令第2条第1項第2号
参 考	